

Science and Technology English I II

Day 201 “Position” Meiji University

STE2_POS.pptx 14 Slides August 16th, 2019

<http://mikami.a.la9.jp/mdc/mdc1.htm>

Renji Mikami

Renji_Mikami(at_mark)nifty.com [mikami(at_mark)meiji.ac.jp]

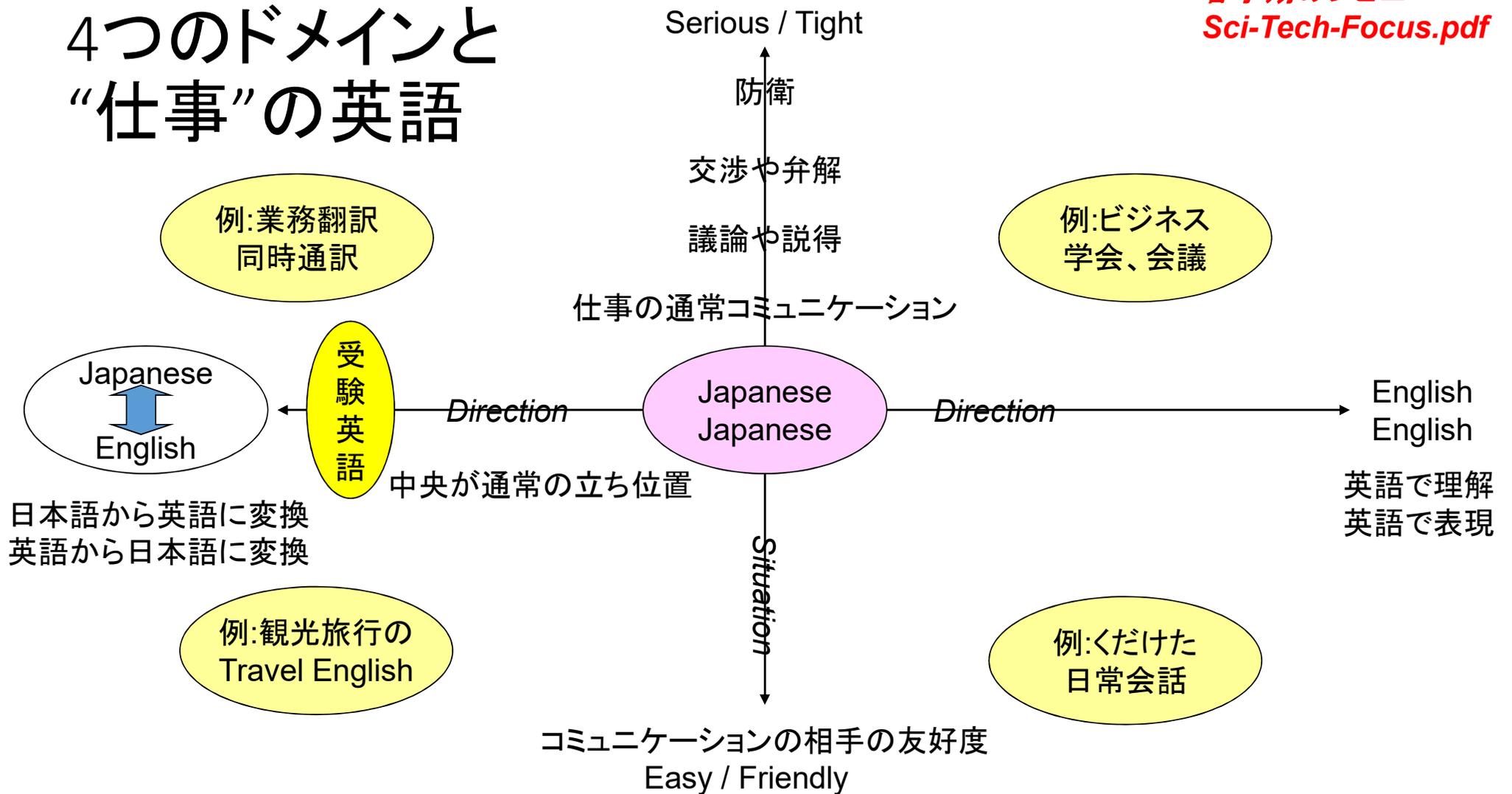
STE1/2

- **出欠登録**はOh-o! Meiji システムで行います。
- 授業は**BYOD**(Bring Your Own Device)で行います。
 - PC / Tablet / Smart Phoneを持参:バッテリー切れに注意してください
- 授業資料は**WEBサイト**にあります (meiji psoc で検索 STEリンクへ)
 - <http://mikami.a.la9.jp/meiji/ste/STE.htm> **予習、復習**に活用してください
- 成績評価に関して (100点満点 S90/A80/B70/C60 Fail:59点以下)
 - 毎回の小テスト/レポートが 5点 x14回 = **70点** (Class Web 提出)
 - 授業前に予習して提出しても構いません (期限後提出はできません)
 - Day214(授業最終日) に**Final Exam. 30点** + 5点(Day214 分)
- 遅刻、早退、欠席などは事前にメールしてください

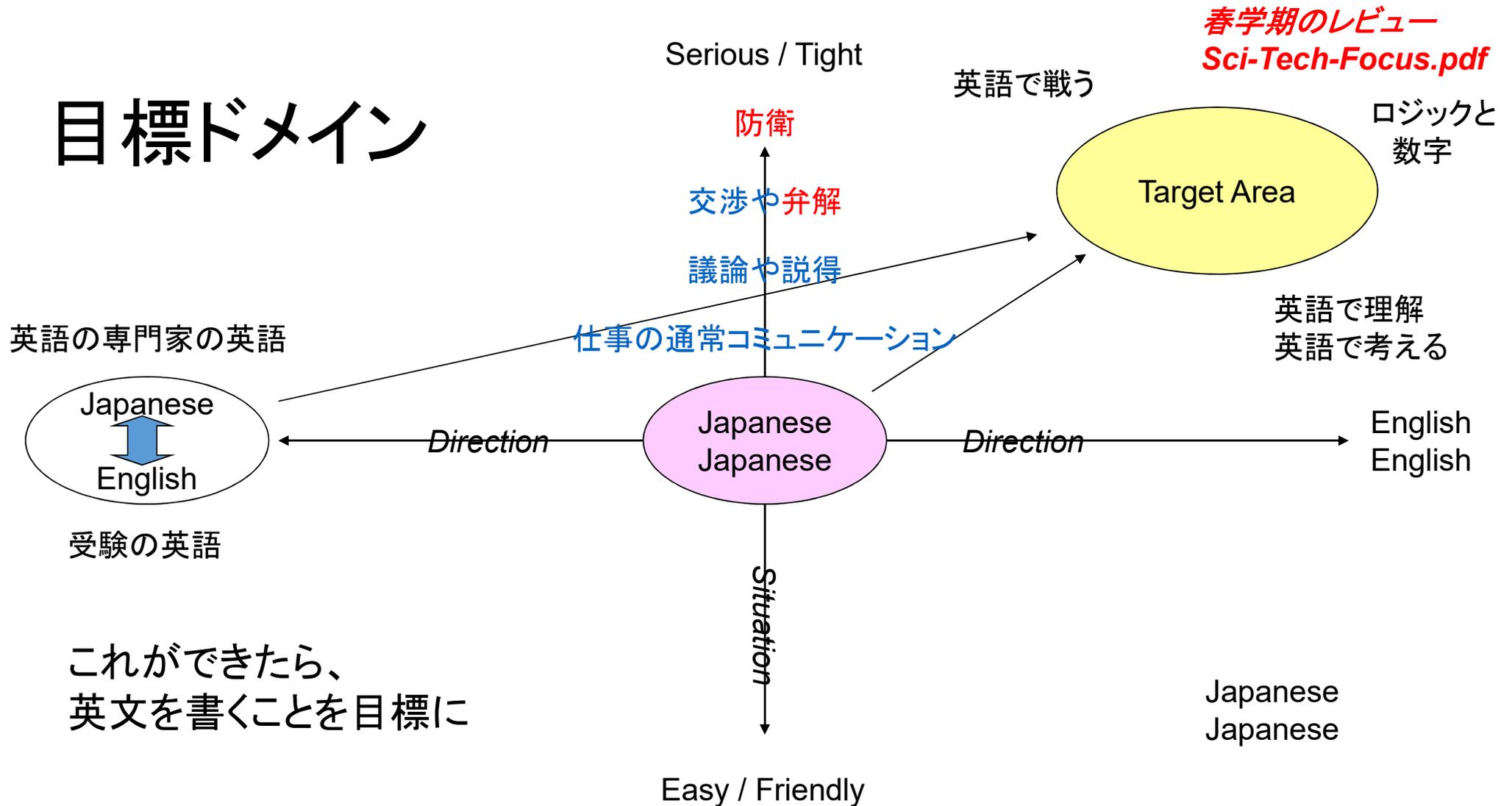
STE1/2 Positioning

- 科学技術英語II(秋学期)の位置づけの前に
- 科学技術英語I(春学期)のレビュー(資料はWEBサイト参照)
 - Domain / Brain / Tool / に分けて解説
 - 方法論的には、Plan > Do > See
 - 英文を逐次日本語訳せずそのまま内容を理解する
 - Reading/Listening は速く大量に(6~7割のアバウトな理解で進める、ポイントとなる部分を集中的に精読、分からないことは、どんどん聞けばよい)
 - Writing/Speaking はシンプルでよいから正確な表現と論理的な構成(数字、固有名詞は間違わない、ロジカルな展開にする)

4つのドメインと “仕事”の英語



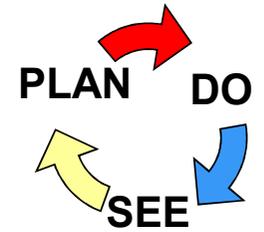
目標ドメイン



これができたら、
英文を書くことを目標に

ROI (Return On Investment)

- **Investment** : 投資(Cost, Effort) **Return** : 成果 (効果)
- 費用対効果と訳されることもあるが、**Metrics** で評価する
 - 最も重要な Investment Factor は “Time” -MoneyはProposal 次第で集まる
- **Metrics** とは数値化して定量的な分析評価を可能にする指標
- よくない例 : 大学で授業に出席せずテキストにやって(Less Investment)単位だけゲットし卒業(Return)。会社に入って必要に迫られて、退社後学校に通って英語を勉強し直す (**Duplication of Effort**)
- 勉強は自分にとっての大きな投資、**Return** は一生続く

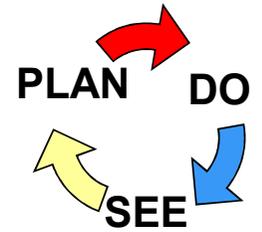


あなたの5年後 そして10年後

- 職場環境はさらに**グローバル化**していく
- 社員が**多国籍化**する、協業/取引各社も**多国籍化**する
- 会議,プレゼン,資料が**英語標準**になる
- 自動翻訳のアシスト環境の進化は遅い
- **一般的な英語**(学校英語や日常英語)は**あたりまえ**になる
- **スキル化された英語**が重要になる
 - 科学技術分野の英語(論文,英文資料,文献)
 - ビジネスの英語,プレゼンテーションの英語

Situation 1 : 5 years later, you work for...

- あなたは、IT企業のアプリケーション開発部門に勤務している
- 開発チームメンバーは多国籍で、会議は英語で行われている
- プロジェクトの要求仕様書原案の打合せが2週間後に予定されている
- Project Manager から**参考資料 500ページ**(英文)が届いている
- [Action] 各メンバーは、打合せ1週間前までに自分の**Proposal**を全員に提出する
- [Action] 各Proposal提案者 に対して打合せ前にメールで**Q&A**を行う
- [Action] 打合せ前日までに **Revised-Proposal** を完成
- [Action] 打合せ当日自分のパートの**プレゼンテーション**を行う



このプロセスは
PLAN-DO-SEE
(春学期 テーマ)

Situation 1 : 5 years

• あなたは、IT企業のアプリケーション

開発エンジニアは多国籍

理解し易く、ロジカルで定量的なものを作成する。

読む側も時間がない。質問が多く来るとこちらにも回答に時間がとられる

迅速に全体像を把握しなければならない。不明点や問題点を見つけて、Project Managerに問い合わせる。

精読の必要はない。60-70%理解で概要をつかみ、どんどん事前質問する。

様書原案の打合せが2週間後に予定されている

参考資料 500ページ(英文)が届いている

• [Action] 各メンバーは、打合せ1週間前までに

自分のProposalを全員に提出する

質問やFeedbackをもとにProposalの完成度を高めることができる。

• [Action] 各Proposal提案者

プレゼンテーションのスタイルを覚えておけばよい。やり方がある。

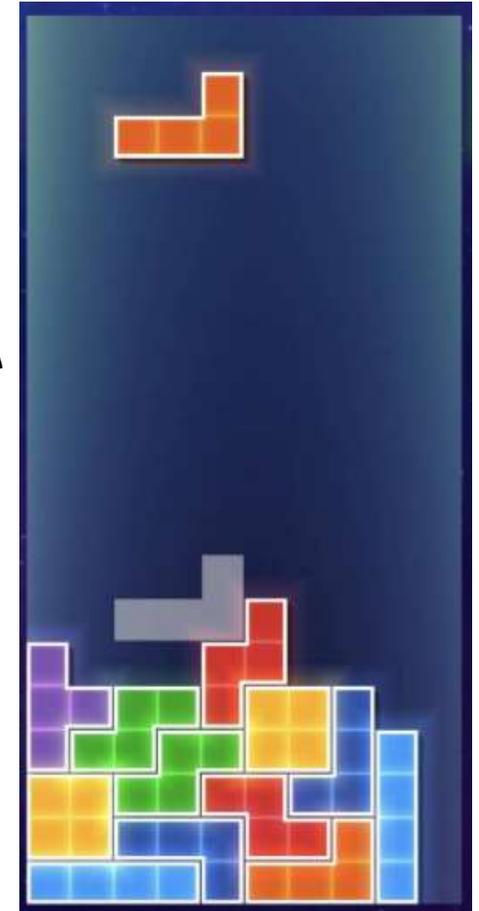
でQ&Aを行う

• [Action] 打合せ前日までに

• [Action] 打合せ当日自分のパートのプレゼンテーションを行う

Situation2: Game Over

- 数100 ページの資料をととも読み切れない
 - 理由 > **時間**がない 精読で時間がかかっている
- 資料について project manager に質問したが返事がない
 - 理由 > **相手**も時間がない 質問が**理解**しにくい
- 自分の proposal が通らない。論文が査読パスしない。
 - 理由 > 内容と価値が理解されるように**書けていない**
- 自分のプレゼンテーションが理解されない
 - 理由 > 相手を理解させる**組み立て**になっていない



Exercise: EX_201

- 前期STE1を履修した人の課題
 - 前期STE1を受講して思ったことをまとめてください
- 後期STE2のみ履修した人の課題
 - 履修の動機と得られるものへの期待をまとめてください
- 書き方(共通)
- EX201.1 日本語で自由に(箇条書き可)書いてください。
- EX201.2 英文で” 4 stage type1”に沿って書いてみてください。(日本語と同じ内容でなくて構いません) **ピンとこない人は、()内の書き始めガイドに従って書いてみよう** 提出はClass Web Report水曜まで

ロジックスタイル練習 1 (4 stage type1)

- タイトルを書き、全体のブロックを4つに分けます。各ブロックは、起-承-転-結 の展開をします。
- Block1 では、**結論**を書きます (*またはタイトルで書き始めてみよう*)
- Block2 では、**理由**を書きます (*Because で書き始めてみよう*)
- Block3 では、Block1/2 で網羅できていないことについて書きます (*However で書き始めてみよう*)
- Block4 では、まとめを書きます (*Finally で書き始めてみよう*)
- まとめでは、Block3 や全体を通したISSUE、Critical Factors、Request、Future などを書きます
- 全体を通して、Metrics, Reference が示されていればベストです

英文(論文,社内文書)を書くときのポイント

- 間違えてはいけないもの(誰からでも指摘される)
 - 数字、固有名詞、スペルミス(誤字脱字)
- 明確な結論とそれに至る論理的な解説、定量的思考 (Metrics)
- 簡潔な表現と正しい文法
 - 書き言葉を使うこと
 - 論文や仕様書の書き方から学ぶ
 - まず自分の書いた文に不自然さを感じるようになればよい
 - 続いて、複数の表現からどちらが適切かを選べるようになればよい

Memo

フォローアップURL (Revised)

<http://mikami.a.la9.jp/meiji/MEIJI.htm>

担当講師

三上廉司(みかみれんじ)

Renji_Mikami(at_mark)nifty.com

mikami(at_mark)meiji.ac.jp (Alternative)

http://mikami.a.la9.jp/_edu.htm

